

1.実施概要

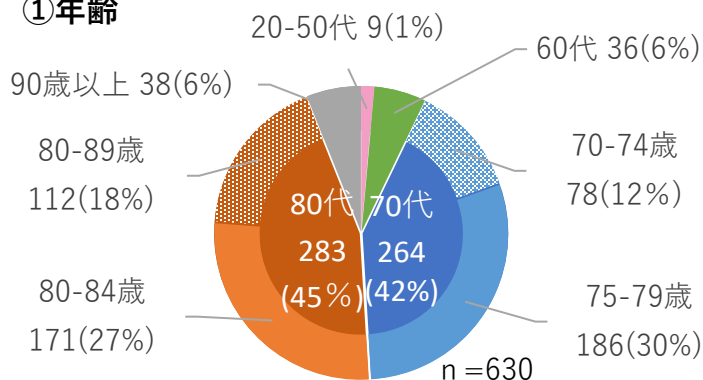
調査対象	市内のふれあい・いきいきサロン参加者（スタッフを含む）
調査実施期間	令和7年6月～11月
調査方法等	調査票への記入による回答
回答数	632人（39地区・49サロン）
集計方法	無回答は母数に入れない。
目的	サロンの成果と課題を把握し、今後の活動の継続・改善につなげるため

2.集計結果

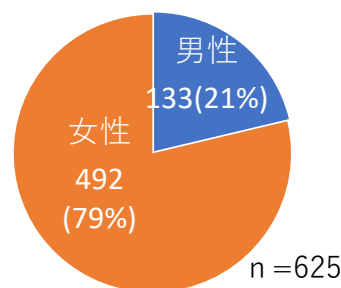
(1) 年齢・性別・家族構成

- ・参加者の中心は75～84歳であり、全体の半分以上を占めている。男女比の偏りは顕著であり、特に高齢女性が中心となっていることが分かる。
- ・全体の73%が家族と同居しているが、4人に1人は独居であり、孤立防止や見守り、交流機会の提供が重要となる。

①年齢



②性別

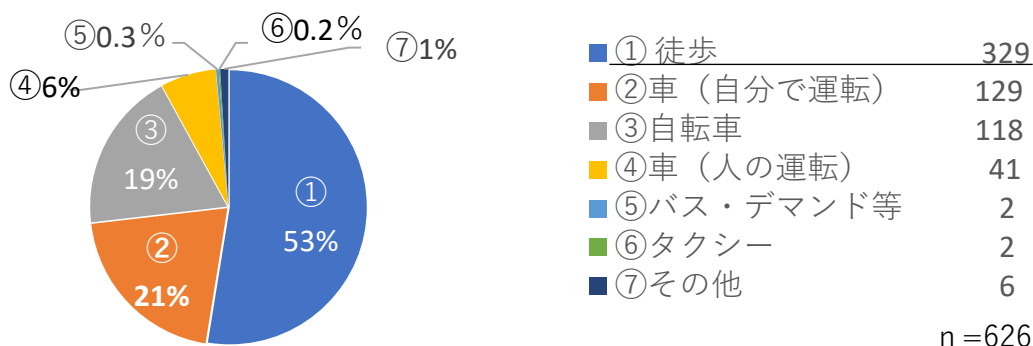


③家族構成



(2) 交通手段

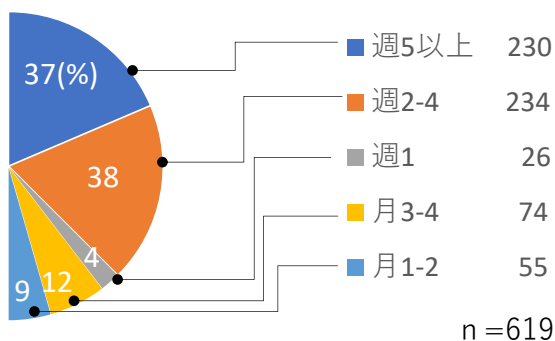
- ・サロンへは約7割が徒歩・自転車で来場しているが、4人に1人が車利用である。



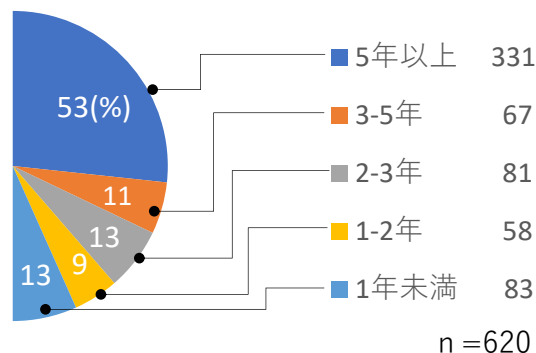
(3) 外出頻度・参加年数

- ・参加者の約7割は外出習慣が豊富で活発な方が多いが、2割は外出が少なく（月1～4回）この層にとってはサロンは数少ない外出機会として重要となる。
- ・半数以上が5年以上参加する長期定着型の活動であることが分かる。

外出の頻度

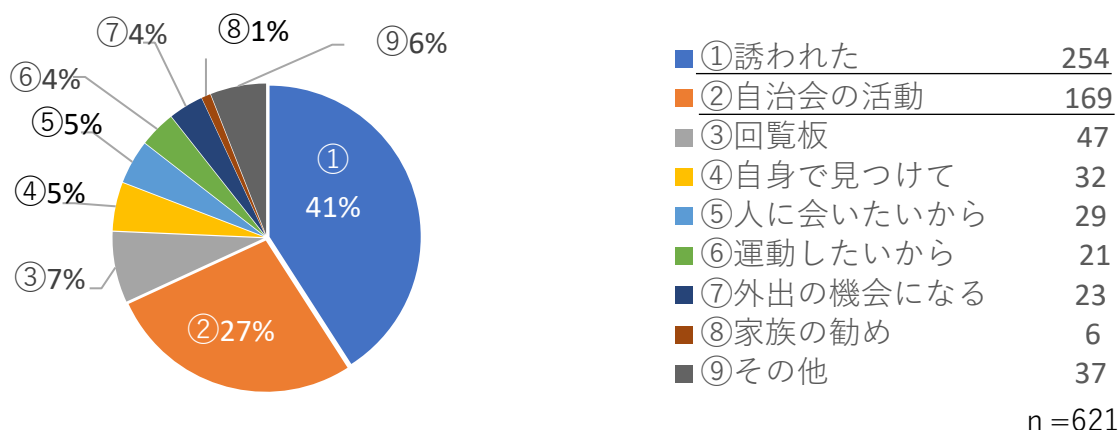


サロンへの参加年数



(4) サロンに参加したきっかけ

- ・サロン参加のきっかけは「人からのお誘い」と「自治会活動として」が中心で、全体の約7割を占める。

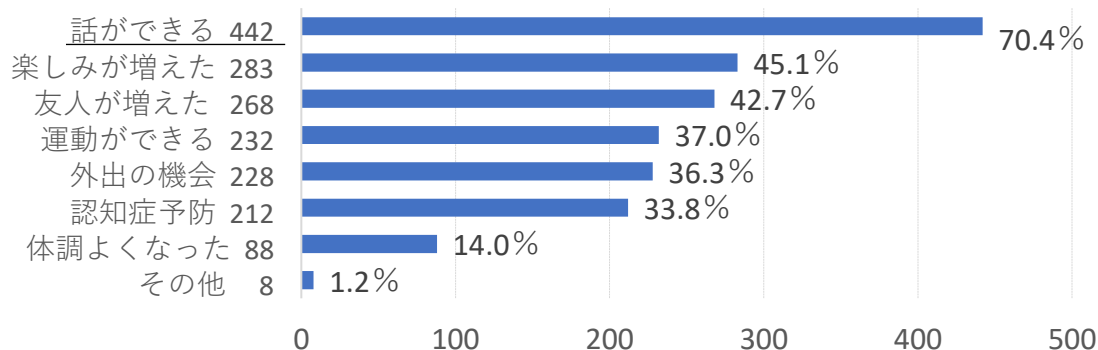


(5) サロンの必要性について

- ・サロンに参加し「話ができる」が最多で、サロンは会話を通して楽しみや仲間づくりの場としての機能を果たしていることが分かる。

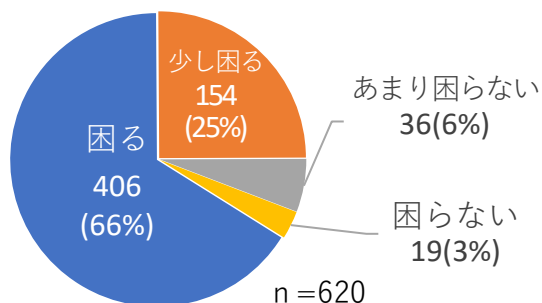
サロンに参加して一番良かったことは？（複数回答可）

n = 627



ふれあい・いきいきサロン参加者アンケート結果報告書

サロンが無くなったら？



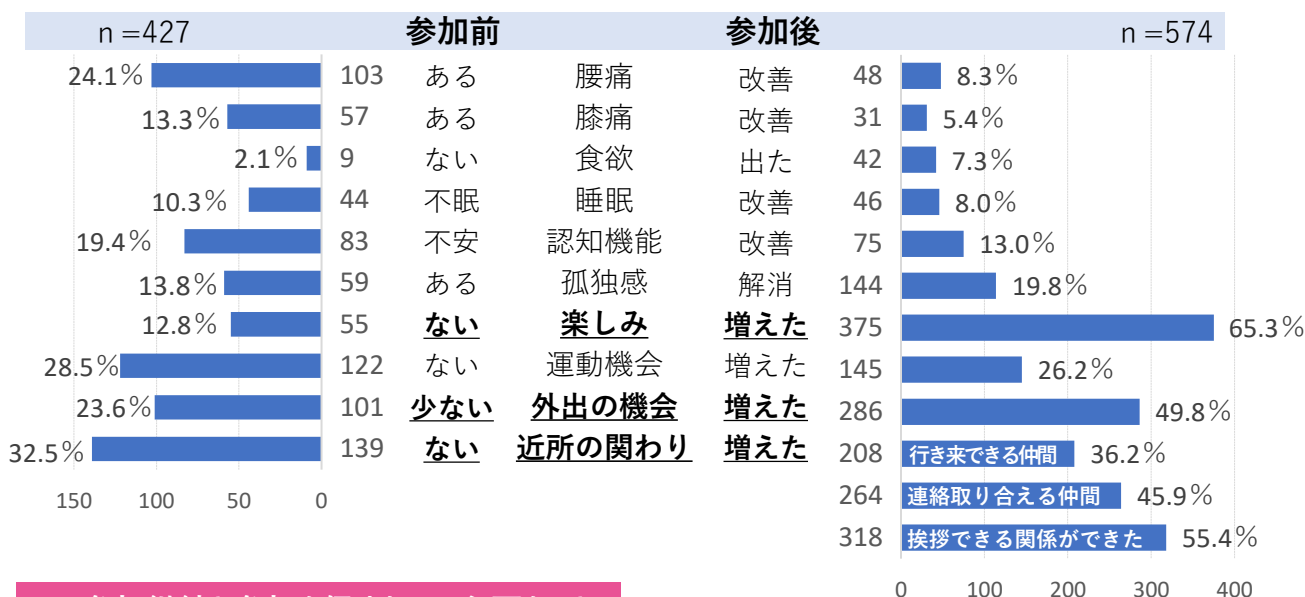
【自由記述】

- ・人との交流・会話が減る (70件)
- ・外出の機会が減る (58件)
- ・楽しみ・生きがいがなくなる (55件)
- ・地域・近所とのつながりが減る (25件)

(6) 参加前と後の変化

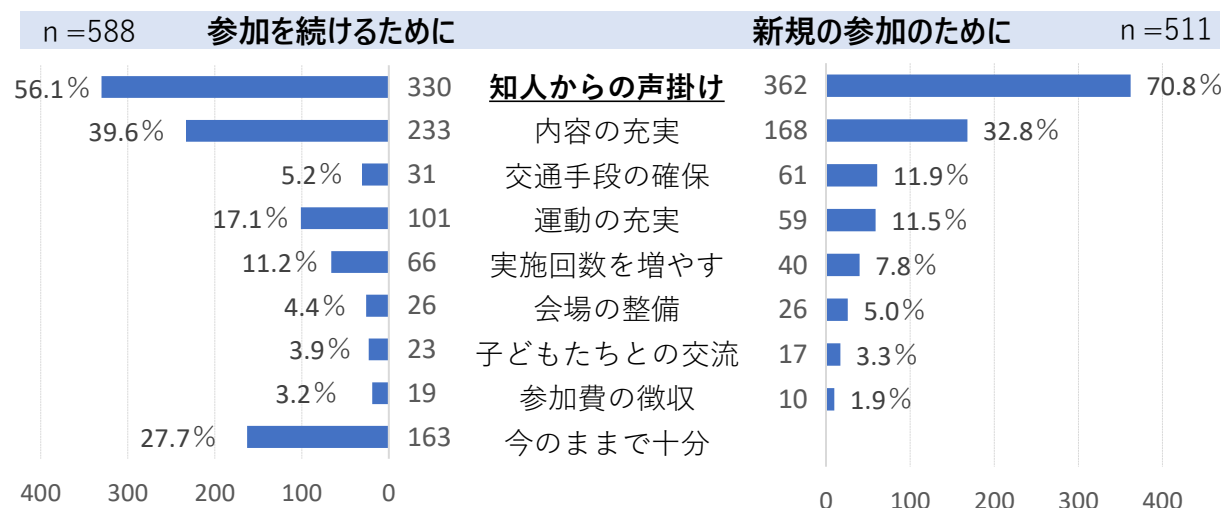
- ・サロンの参加が「楽しみ」「外出の機会」の増加をはじめ、「近所の関わり」が少なかった方の仲間づくりや人とのつながり形成に寄与していることが分かる。

サロンに参加する前と後の変化について（複数回答可）



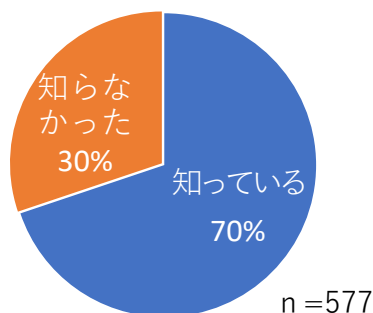
(7) 参加継続と参加を促すために必要なこと

- ・サロンへの参加継続と新規参加を促すためには、仲間同士の声掛け（人とのつながり）が最も重要であることがわかった。



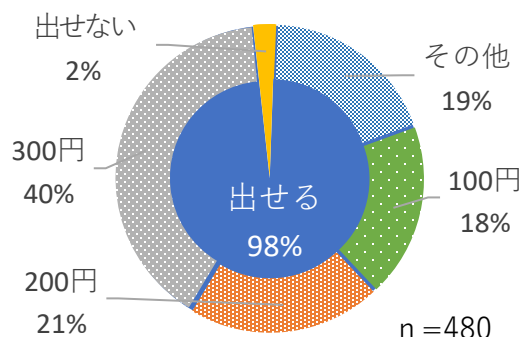
(8) サロンの財源について

サロンに「市社協会費」、「ぎんなん基金」、「赤い羽根共同募金」の寄付金による助成が活用されていることをご存じですか？



(9) サロンの参加費について

サロンに参加するにあたり参加費をいくらまでなら出すことができますか？



(10) 自由記述

■サロン活動への感謝・満足・継続希望（45件）

「誘ってくれた方に感謝しています。ずっと参加したいと思います。」…など

■役員・スタッフへの感謝・配慮（14件）

「代表の方が色々お世話していただいて、楽しく参加できています」…など

■楽しみ・地域交流・仲間ができた（58件）

「地区の人のコミュニケーションがよかった」「自治会の人と仲良くなれた」…など

■募金・助成金への感謝（20件）

■健康・生きがいへの効果（約15件）

「月に1度でも皆さんと会って元気の確認ができると幸せを感じる」…など

■広報・参加者増加の必要性（約8件）

「サロンの良さをPRしてもっと多くの人に来てもらいたい」…など

■若年層の参加促進（約8件）

■活動内容の充実・運営への要望（約22件）

「回数を増やしてほしい」、「子ども会との連携もあるとよい」…など

アンケート結果のまとめ

サロンは、交流・楽しみ・外出機会の提供を通じて、孤立防止や心の安定、人間関係の再構築など、参加者の生活を大きく改善している。特に「楽しみができた」「挨拶できる関係」など、地域のつながり形成に最大の効果を示していることがわかった。

■サロンの有用性

- ・参加者の9割が「サロンがなくなると困る」と回答しており、サロンが参加者にとっては欠かせない場となっていることが明らかになった。
- ・また、参加することで「楽しみができた」「挨拶できる関係ができた」など参加者の生活の質が大きく向上していることや、人とのつながり形成に高い効果を示していることがわかった。

■サロンの継続参加と、未参加者の呼び込み

- ・参加の継続や未参加者を呼び込むためには、「知人からの声掛け」が最も効果的であることが明らかになった。

■参加費負担の検討

- ・参加費の負担については、多くの参加者が賛成している結果が得られた。